

市政に関する一般質問 9月会議は16名の議員が質問

新型コロナウイルス感染症が、収束していない中での、今後の教育行政などについて

松原 美子 議員

これまで、学校関係者や児童生徒に、新型コロナウイルス感染症が拡大したか。また、発生した場合の対応を伺います。

9月18日現在、教職員及び児童生徒に感染者はいません。また、感染者が発生した場合、新型コロナウイルス感染症発生時の小中学校における臨時休業方針について

プラスチックの再資源化と削減に向けた市の取り組みについて

津久井 清氏 議員

本年7月からレジ袋が有料化された背景を伺います。

海洋ごみ問題など生活や環境を脅かす地球規模の課題が深刻さを増しており、その原因の一部であるプラスチックを、資源として有効活用する必要が高まっていることから、政府は関係法令を改正し、本年7月からレジ袋有料化が義務化されました。

鎌ヶ谷市の持続可能な住環境の形成に向けた取組について

松澤 武人 議員

本市における老朽化した空き家の現状について伺います。

令和2年8月31日時点における空き家等と思われる建物は92件です。そのうち、昭和56年以前に建築された、いわゆる旧耐震建築物の割合は約64%と高く、また多くの空き家等で外壁の腐朽、破損、屋根の剥がれなど、老朽化が見

受けられます。老朽化した空き家を出さないためには行政の役割が重要であると考えますが、ランドバンク制度について、市の見解を伺います。

5月18日から教育課程に位置づけのない分散学習支援を行い、6月第1週に分散登校を行いました。分散型学習では、マスクを着用し、児童生徒同士の意見交換を行わない授業の形態をとり、休み時間もトイレ休憩のみを基本としたため、この時期の分散型の授業から少人数指導や少人数学級としての効果の検証は難しいと考えています。

一般国道464号北千葉道路について

宗川 洋一 議員

当初計画の40メートルから60メートルを超える幅員へ変更となっております。自動車専用道路は、高架構造を基本としていますが、松戸市との市境付近の新京成線から北総線の交差点までは地下構造となっております。これは北総鉄道を建設する際、交差方法を協議した結果などによるものです。

主な変更内容は、都市計画道路3・1・1号北千葉鎌ヶ谷線の道路幅員が広がったこと、自動車専用道路である都市計画道路1・3・1号北千葉道路を新規に追加したことです。

市役所の窓口業務について

鈴木 哲也 議員

身内の死亡後の必要な手続きは故人によって異なり、ご遺族の方の負担となつていくことから、相談窓口や受付体制を充実させるため、市民の要望でもある「おくやみ窓口」の設置や、市役所以外での手続きなども掲載した「おくやみハンドブック」の配布の検討を要望しますが、今後どのように取り組まれていくのか伺います。

市では若い世代向けにライフデザイン手帳を配布し、高い評価を得ていることから、シニア世代向けにも鎌ヶ谷市のエンディングノートへの配布の検討を要望しますが、市の考えを伺います。

エンディングノートの配布については、市民からの要望や優先すべき課題等を勘案しながら、今後検討していきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策について

小易 和彦 議員

これからの時期はインフルエンザの流行が危惧されますが、新型コロナウイルス感染症対策と併せた対応を伺います。

厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部より9月4日付で「次のインフルエンザ流行に備えた体制整備について」が発出されました。この基本的な方向性として3点挙げられており、1点目は、地域の実情に応じて多くの医療機関で発熱患者等の相談、診療、検査ができる体制を整備すること。2点目は、インフルエンザワクチンの供給量を確保しつつ、効率的なワクチン接種を推進すること。3点目は、新しい生活様式をはじめとする感染症対策を推進することです。

本市としては、保健所と連携しながら、地域の医療機関の状況把握やインフルエンザワクチンの定期接種の勧奨及び実施、感染症予防の基本である密閉、密集、密接の回避、

ポストコロナ社会における持続可能な都市農業の促進について

佐藤 剛 議員

本市における地域支援型農業(CSA)の実現について、今後の可能性を伺います。

地域支援型農業(CSA)とは、特定の消費者が生産者と農産物の種類、栽培方法、価格等について代金前払い契約を結ぶ農業とされています。生産者側のメリットとしては、前払いであることで経営安定につながることで、消費者との信頼関係の構築につながることで、消費者側のメリットと、消費者側のメリットと

市長の政治姿勢について

徳野 涼 議員

9月2日の新聞報道によると、清水市長が衆議院議員総選挙の立候補に前向きな意向を示したとありますが、これは事実ですか。

現在鎌ヶ谷市長という立場にあり、その職責の遂行に全力を傾けているところで、市政に関する一般質問とは、公人である鎌ヶ谷市長として発言すべき場であり、私人としての個人に関する事柄については、コメントするべきではないと考えています。個人としての意見は差し控えることですが、衆議院議員総選挙に立候補されることは、市長を辞めることと同義であり、議会や市民にしっかりと表明いただければ

マスクの着用、手洗い、せきエチケット等の実施や、定期的な清掃、十分な換気の実施等新しい生活様式の普及啓発を継続して実施していきます。



においても様々な視点で農業振興に取り組んでいく必要があることから、地域支援型農業の詳細についても研究していきます。



市内の梨園

と思いますが、いかがですか。この議場は、公人である鎌ヶ谷市長として発言すべき機会であり、私人としての個人に関する事柄についてはコメントすべきではないと考えています。

